

大学の就職・キャリア支援状況に関する調査

株式会社リクルート（本社：東京都千代田区 代表取締役社長：北村 吉弘）の研究機関・就職みらい研究所（所長：栗田 貴祥）は、2023年9月に「大学の就職・キャリア支援状況に関する調査」を実施しました。調査結果をまとめましたので、ご報告申し上げます。

調査結果サマリー

- ・各大学のキャリアセンターが実施する就職ガイダンス、就職支援サービスへの2023年9月時点での参加状況を聞いたところ、大学4年生後期を迎える2024年卒学生の参加状況は、「80%以上」が22.7%、「60～79%」が28.8%、「40～59%」が21.7%、「20～39%」が17.3%、「20%未満」が9.5%であった。
- ・就職・キャリア支援で課題と感じているものとして「未内定学生の支援」が63.7%で最も高く、続いて「就職支援に対する学生の利用率・率」が60.3%であった。
就職・キャリア支援の課題を解決する上で不足しているものとしては「人手」が66.0%で最も高く、次に「学生の集客」が58.8%であった。
学生の就職ガイダンス、就職支援サービスへの参加状況に課題を感じている大学も多い様子がうかがえる。
- ・集団向け支援プログラムのうち必須参加および自由参加で開催しているものについてそれぞれ聞いた結果を2024年卒学生の就職ガイダンス、就職支援サービスへの参加状況別に見ると、参加割合を「80%以上」と回答した大学の方が、「その他」を除く全てのプログラムにおいて必須参加で開催するプログラムの割合が全体よりも高い。
- ・就職・キャリア支援の課題を解決できた具体的な取り組みや改善された内容について聴取したところ、「他大学と協働して開催することにより、参加者数を確保した」といったコメントや「就職ガイダンスを充実させることでインターンシップの参加率が上がった」、「キャリア支援の専門科目を立ち上げた」など、さまざまな取り組み内容が寄せられた。

■ 調査概要

調査目的：キャリアセンターにおける支援の現状や抱えている課題について実態を明らかにする

調査方法：インターネット調査

調査期間：2023年9月4日～24日

集計対象：295校

■ 学校区分

(%)

全体	国立	公立	私立
n=295	12.2	11.5	76.3

■ 地域

(%)

全体	関東	中部	近畿	その他地域
n=295	31.2	19.3	19.0	30.5

■ キャリアセンター職員数

(%)

全体	5人未満	5～9人	10～14人	15～19人	20人以上
n=295	25.4	38.6	14.9	8.5	12.5

※大学職員ではなく業務委託で支援を担当されているキャリアカウンセラーの方も含む

■ 2024年卒学生の就職希望者数

(%)

全体	300人未満	300～499人	500～999人	1,000人以上
n=295	33.9	14.2	22.4	29.5

■ 2025年卒学生の就職希望者数

(%)

全体	300人未満	300～499人	500～999人	1,000人以上
n=295	36.3	15.3	20.3	28.1

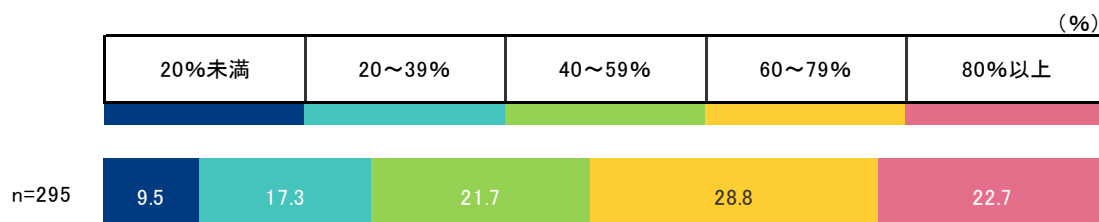
1) 学生の就職ガイダンス、就職支援サービスへの参加状況

各大学のキャリアセンターが実施している就職ガイダンス、就職支援サービスへの2023年9月時点での参加状況を聞いたところ、就職希望学生数を100%とした際の参加割合は、2024年卒学生の参加状況では「80%以上」と回答した大学は22.7%、「60~79%」は28.8%、「40~59%」は21.7%、「20~39%」は17.3%、「20%未満」は9.5%であった。

また、2025年卒学生の参加状況は「80%以上」と回答した大学は22.4%、「60~79%」は21.4%、「40~59%」は20.7%、「20~39%」は21.7%、「20%未満」は13.9%であった。

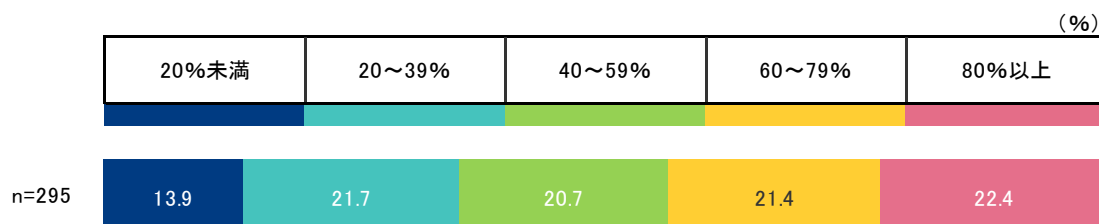
■ 2024年卒学生の就職ガイダンス、就職支援サービスへの参加状況

(全体/単一回答)



■ 2025年卒学生の就職ガイダンス、就職支援サービスへの参加状況

(全体/単一回答)

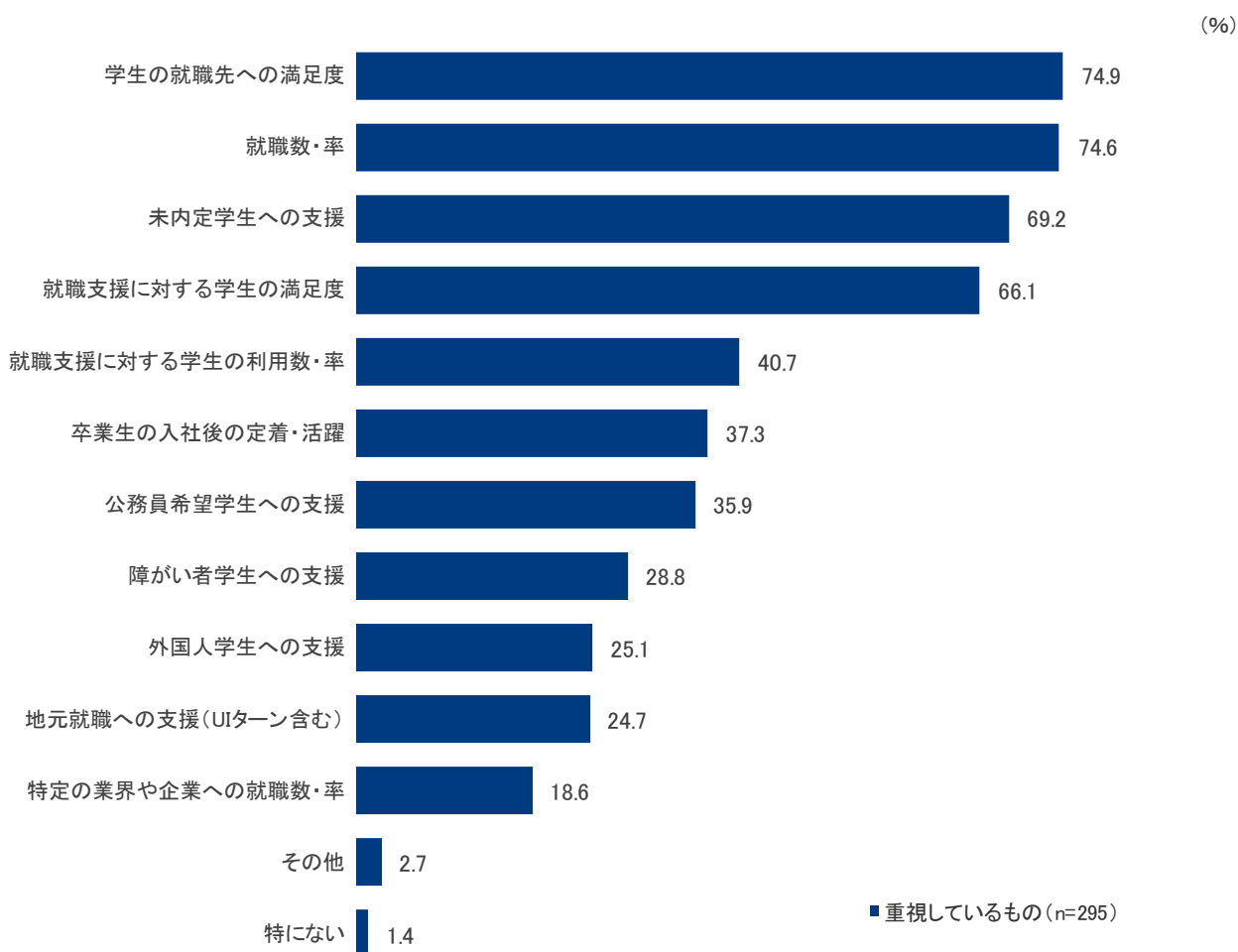


2) 就職・キャリア支援で重視しているもの

就職・キャリア支援において重視しているものは、「学生の就職先への満足度」「就職数・率」が7割以上、「未内定学生への支援」「就職支援に対する学生の満足度」が6割を超える結果であった。

■ 就職・キャリア支援で重視しているもの

(全体/複数回答)

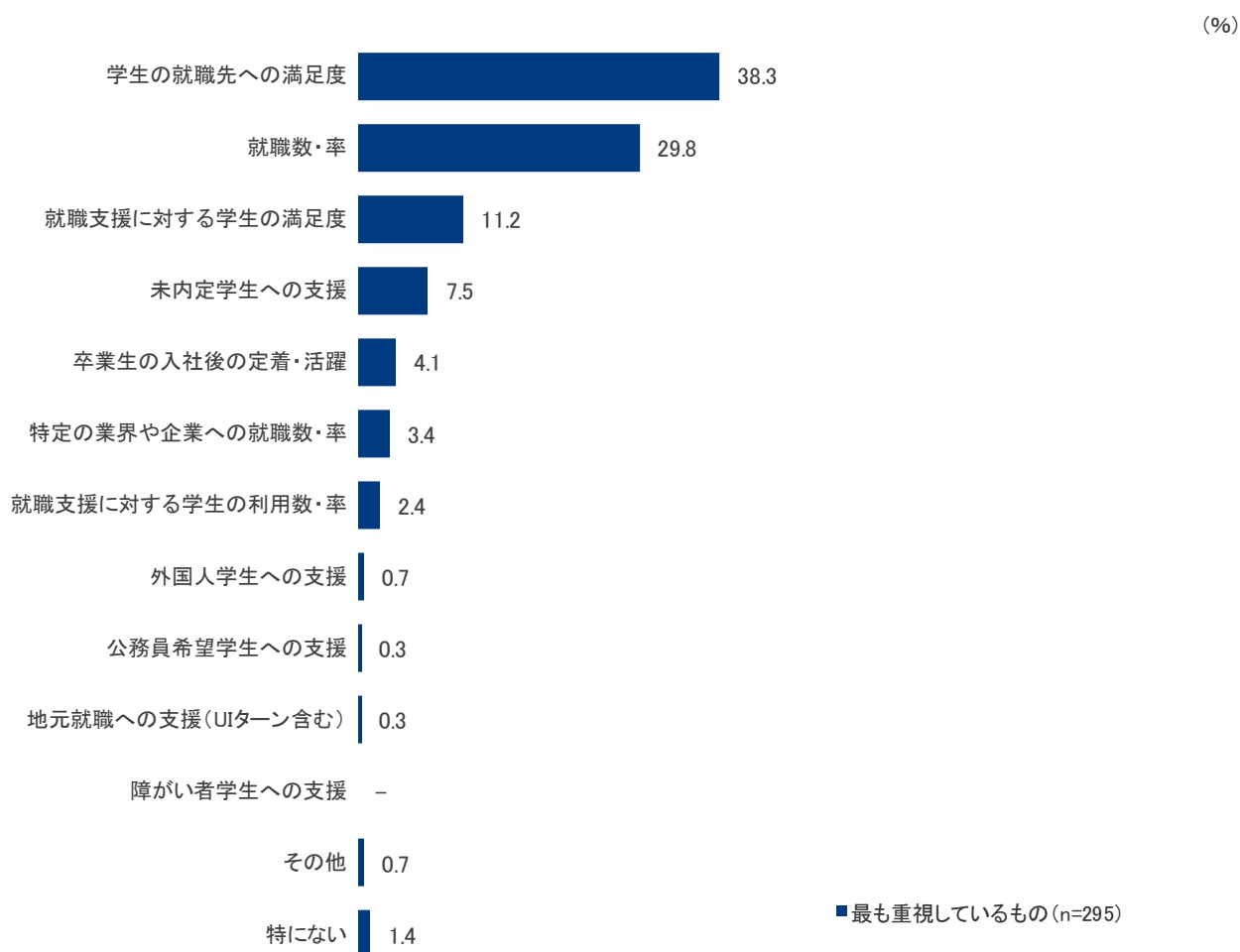


3) 就職・キャリア支援で最も重視しているもの

就職・キャリア支援において最も重視しているものは、「学生の就職先への満足度」が約4割、「就職数・率」が約3割で上位であった。

■ 就職・キャリア支援で最も重視しているもの

(全体/単一回答)

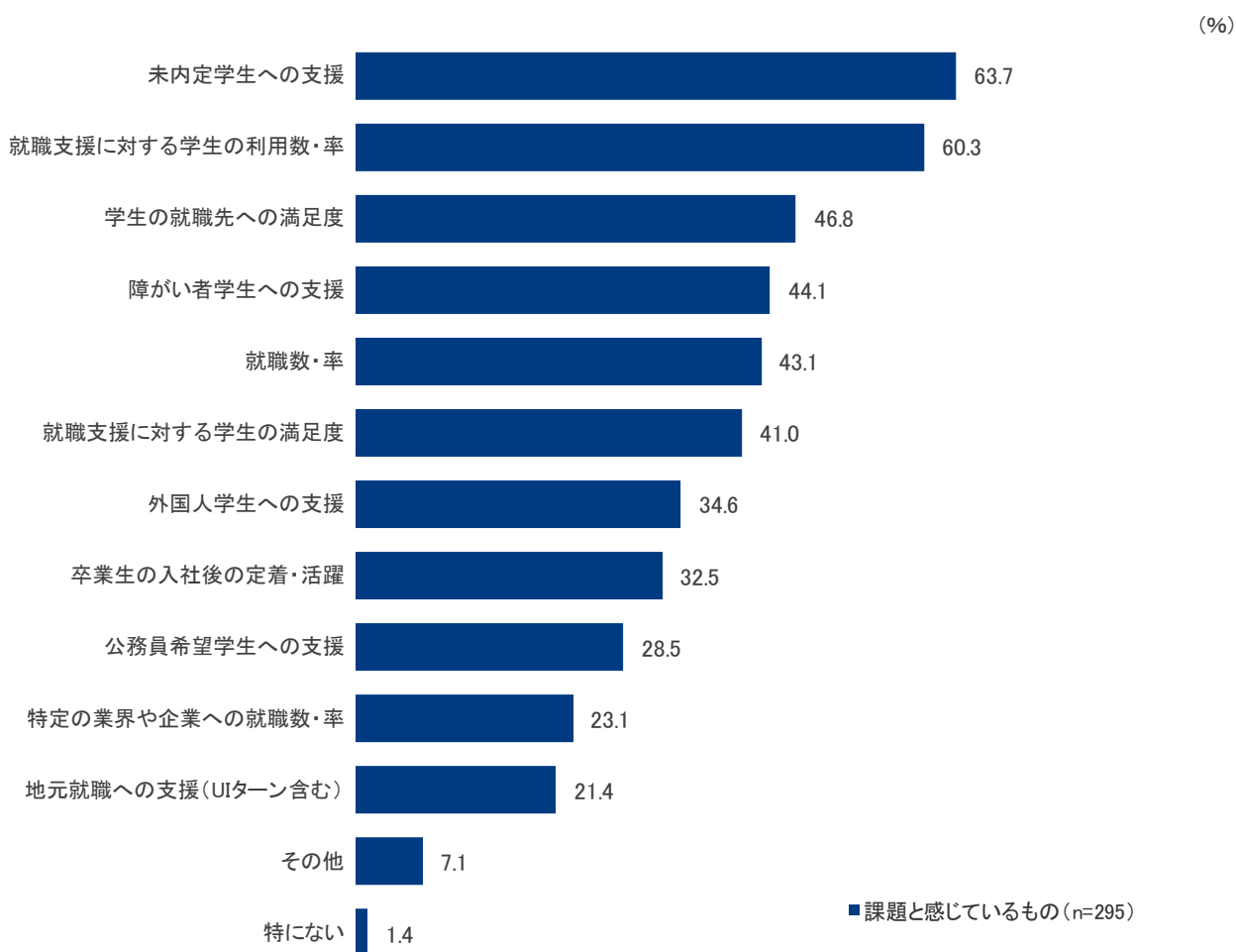


4) 就職・キャリア支援で課題と感じているもの

就職・キャリア支援で課題と感じているものを見ると、「未内定学生への支援」が63.7%で最も高く、次に「就職支援に対する学生の利用率・率」が60.3%で続く。

■ 就職・キャリア支援で課題と感じているもの

(全体/複数回答)

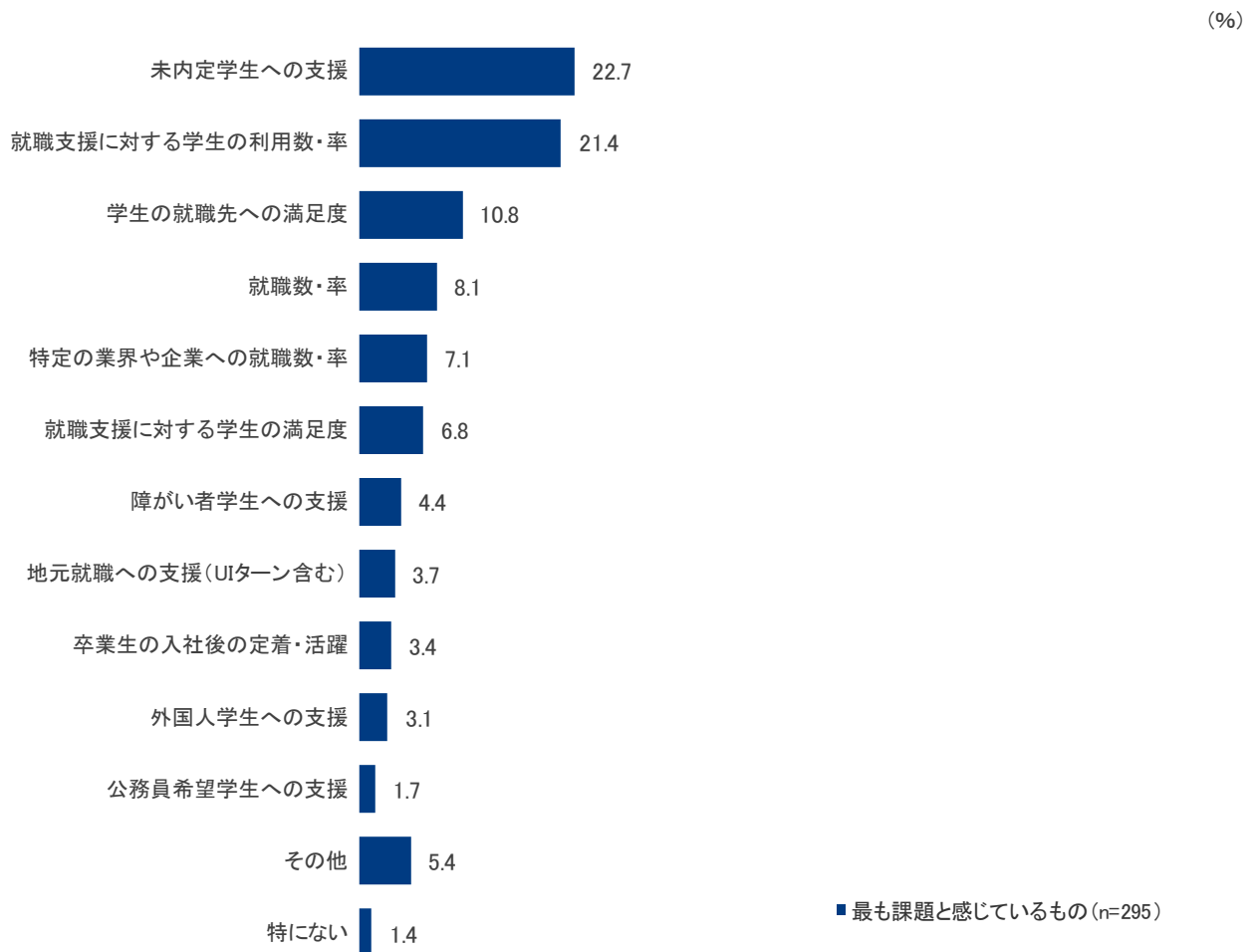


5) 就職・キャリア支援で最も課題と感じているもの

就職・キャリア支援で最も課題と感じているものを見ると、「未内定学生への支援」が22.7%で最も高く、次に「就職支援に対する学生の利用数・率」が21.4%で高い。

■ 就職・キャリア支援で最も課題と感じているもの

(全体/単一回答)

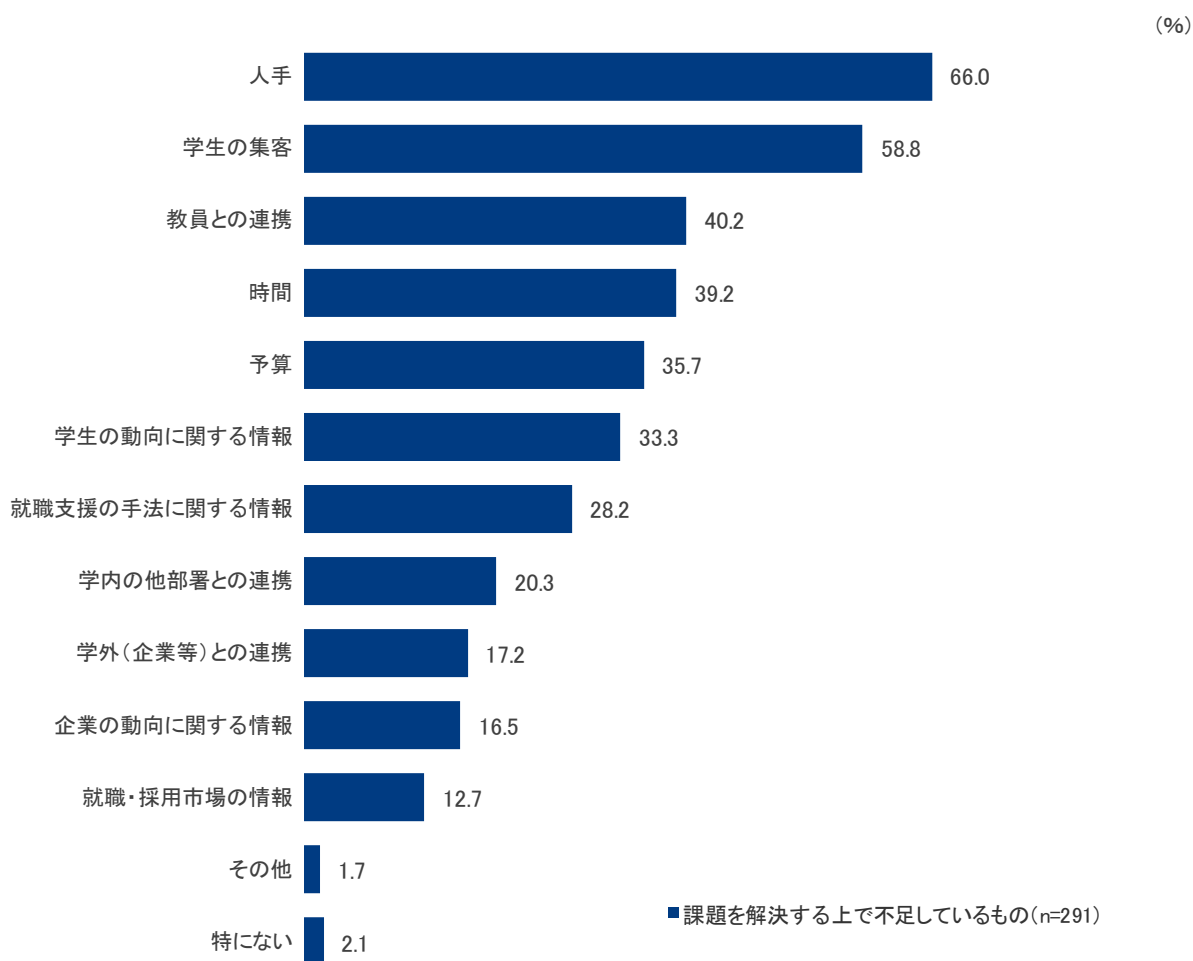


6) 就職・キャリア支援の課題を解決する上で不足しているもの

就職・キャリア支援の課題を解決する上で不足しているものを聞くと、「人手」が66.0%で最も高く、「学生の集客」が58.8%と続いた。

■ 就職・キャリア支援の課題を解決する上で不足しているもの

(就職・キャリア支援で課題と感じているものがある／複数回答)



7) 就職・キャリア支援の課題を解決できた具体的な取り組みや改善された内容

就職・キャリア支援の課題を解決できた具体的な取り組みや改善された内容を聞いたところ、「他大学と協働して開催すること」や「就職ガイダンスを充実させることでインターンシップの参加を促す」、「キャリア支援の専門科目の立ち上げ」など、さまざまなコメントが寄せられた。

■ 就職・キャリア支援の課題を解決できた具体的な取り組みや改善された内容

(全体／自由回答)

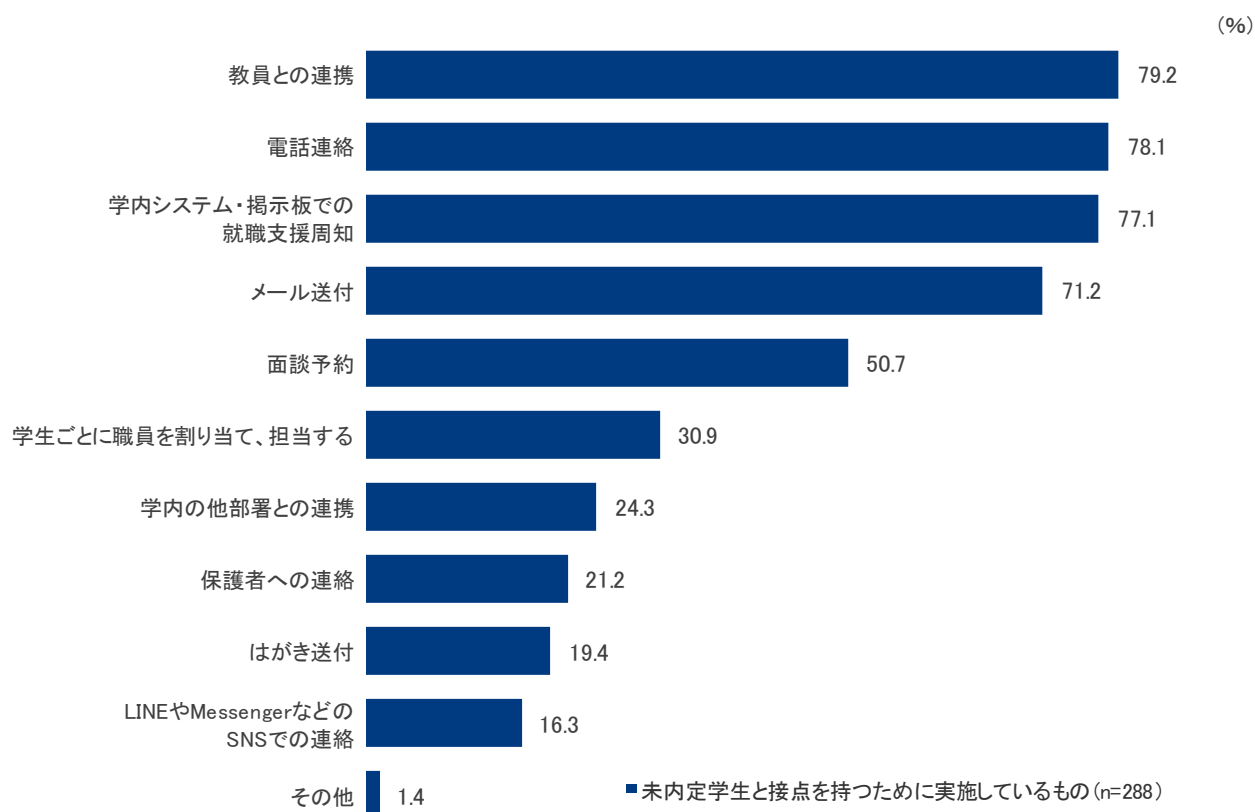
コメント	学校区分	キャンパス所在地
グループディスカッション講座等、他大学と協力して開催することにより、参加者数を確保した。	国立	近畿
学生にとってキャリアセンターは「敷居の高い場所」「入りにくいところ」という印象があったため、レイアウトを全面的に改善したところ、授業の合間などにふらっと立ち寄る学生が増えました。	私立	関東
校内インターンシップ（単位付与課外授業としての）の充実。	私立	関東
前期就職ガイダンスの回数を増やし、厚くしたことで夏期インターンシップの参加率が上がった。	私立	中部
教員と連携することで学科を巻き込んだガイダンスや講座を実施することができた。学科で実施することで普段キャリアセンターに来ない学生とも接触ができることがメリット。教員とは日頃からの関係構築が重要だと思う。	私立	近畿
SNSを利用することで、学生への情報を提供する手段が増えた。	私立	近畿
教員と連携しキャリア支援の専門科目を立ち上げたこと。	私立	近畿
キャリアセンター以外に所属している若手職員が学生一人ひとりの身近な理解者として進路に関わる相談を行う。	私立	近畿

8) 未内定学生と接点を持つために実施しているもの

未内定学生と接点を持つために実施しているものを聞くと、「教員との連携」「電話連絡」「学内システム・掲示板での就職支援周知」「メール送付」が7割を超え、上位であった。

■ 未内定学生と接点を持つために実施しているもの

(未内定学生の把握を実施している／複数回答)



9) 必須参加で開催している集団向け支援プログラム

必須参加で開催している集団向け支援プログラムについて聞くと、全体では「進路・就職ガイダンス」が52.9%で最も高い。また、「当てはまるものはない」と回答した割合は42.7%であった。

2024年卒学生の就職ガイダンス、就職支援サービスへの参加状況別に見ると、参加割合「80%以上」と回答した大学の方が、「その他」を除く全てのプログラムにおいて必須参加で開催するプログラムの割合が全体よりも高い。

■ 必須参加で開催している集団向け支援プログラム

(全体／複数回答)

		(%)								
		進路・就職ガイダンス	インターンシップガイダンス	自己分析についてのガイダンス	業界研究・企業研究に関するガイダンス	面接、グループディスカッションに関するガイダンス	エントリーシートに関するガイダンス	ビジネスマナーに関するガイダンス	筆記試験対策ガイダンス	
全体	n=295	52.9	20.0	21.0	21.4	18.3	17.6	14.6	14.2	
2024年卒学生の就職ガイダンス、就職支援サービスへの参加状況	20%未満	n=28	28.6	14.3	10.7	14.3	10.7	10.7	10.7	
	20～39%	n=51	37.3	13.7	3.9	5.9	5.9	3.9	2.0	
	40～59%	n=64	48.4	17.2	20.3	15.6	17.2	20.3	14.1	
	60～79%	n=85	54.1	25.9	25.9	27.1	18.8	16.5	14.1	
	80%以上	n=67	77.6	22.4	32.8	34.3	31.3	29.9	26.9	

		資格取得に関するガイダンス	採用選考につながる企業説明会	未内定学生向けガイダンス	外国人学生向けガイダンス	障がいのある学生向けガイダンス	公務員希望学生向けガイダンス	その他	当てはまるものはない
全体	n=295	2.7	7.5	2.7	4.7	0.7	4.1	2.4	42.7
2024年卒学生の就職ガイダンス、就職支援サービスへの参加状況	20%未満	n=28	-	-	-	-	-	3.6	60.7
	20～39%	n=51	3.9	2.0	3.9	2.0	-	3.9	62.7
	40～59%	n=64	3.1	12.5	1.6	4.7	1.6	3.1	6.3
	60～79%	n=85	1.2	8.2	1.2	4.7	-	4.7	2.4
	80%以上	n=67	4.5	9.0	6.0	9.0	1.5	6.0	-

(※) 全体と比べて+10ポイント以上の項目を赤の地色で、-10ポイント以下の項目を青の地色で表示

10) 自由参加で開催している集団向け支援プログラム

自由参加で開催している集団向け支援プログラムについて聞くと、必須参加（P11）と比べて全体的に開催割合が高く、多様なプログラムを実施している様子がうかがえる。

2024年卒学生の就職ガイダンス、就職支援サービスへの参加状況別に見ると、参加割合「20%未満」「20～39%」と回答した大学では、必須参加で開催している割合では低かったのに対し、自由参加で開催している割合は多いことが分かる。

■ 自由参加で開催している集団向け支援プログラム

（全体／複数回答）

		(%)								
		進路・就職ガイダンス	インターンシップガイダンス	自己分析についてのガイダンス	業界研究・企業研究に関するガイダンス	面接、グループディスカッションに関するガイダンス	エントリーシートに関するガイダンス	ビジネスマナーに関するガイダンス	筆記試験対策ガイダンス	
全体	n=295	56.3	75.3	75.9	78.6	79.3	79.7	67.8	71.5	
2024年卒学生の就職ガイダンス、就職支援サービスへの参加状況	20%未満	n=28	71.4	85.7	82.1	85.7	78.6	85.7	67.9	75.0
	20～39%	n=51	70.6	88.2	90.2	92.2	90.2	92.2	82.4	84.3
	40～59%	n=64	57.8	70.3	76.6	84.4	78.1	76.6	68.8	70.3
	60～79%	n=85	57.6	70.6	75.3	75.3	81.2	82.4	64.7	71.8
	80%以上	n=67	35.8	71.6	62.7	64.2	70.1	67.2	59.7	61.2

		資格取得に関するガイダンス	採用選考につながる企業説明会	未内定学生向けガイダンス	外国人学生向けガイダンス	障がいのある学生向けガイダンス	公務員希望学生向けガイダンス	その他	当てはまるものはない	
全体	n=295	36.6	68.5	43.4	38.6	27.5	64.4	4.4	3.1	
2024年卒学生の就職ガイダンス、就職支援サービスへの参加状況	20%未満	n=28	28.6	57.1	46.4	50.0	14.3	60.7	3.6	-
	20～39%	n=51	39.2	80.4	60.8	39.2	31.4	70.6	3.9	-
	40～59%	n=64	37.5	67.2	50.0	45.3	39.1	71.9	1.6	1.6
	60～79%	n=85	36.5	72.9	36.5	41.2	22.4	63.5	7.1	2.4
	80%以上	n=67	37.3	59.7	31.3	23.9	25.4	55.2	4.5	9.0

(※) 全体と比べて+10ポイント以上の項目を赤の地色で、-10ポイント以下の項目を青の地色で表示